
「保険医療分野の研究助成に関するアンケート」 調査結果報告書 (単純集計版)

調査実施: 2007年1-2月

(本報告書作成: 2007年7月30日)

1 . 調査概要

- (1) 調査目的
- (2) 調査設計
- (3) 調査項目
- (4) 調査主体
- (5) 実施調査機関

2 . 調査結果（単純集計）

1. 調査概要

(1) 調査目的

研究助成機関による保健医療分野の研究助成において、応募された研究案件の選考と、助成研究の成果に対する評価がどのように行われているのかを明らかにすること

(2) 調査設計

- [調査対象] 大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）登録の研究助成機関
[調査方法] インターネット調査（調査依頼は郵送による）
[調査期間] 2007年1月15日（月）～2007年2月13日（火）
[回答機関] 96機関

調査対象機関：328機関

回答機関：96機関

集計対象機関：63機関

集計対象を、調査票最初のスクリーニング質問で「保健医療分野の研究助成をしている」と回答した63機関とした。

「保健医療分野」という用語については、「医学や医療、介護など広くヘルスケアに関連する分野という意味で用いている」と補足説明を付けた。

(3) 調査項目

研究助成の目的・趣旨
助成対象となる研究分野
助成対象となる疾患カテゴリーおよび疾患
研究助成の対象となる「個人」の特色
研究助成の公募方法/ 応募案件の選考方法
選考時の考慮項目/ 最重視項目
選考プロセス
研究成果の提出義務
研究成果の評価
評価体制/ 評価の最重視項目/ 評価方法

(4) 調査主体

厚生労働省行政政策研究分野科学研究政策科学推進研究事業「わが国の疾病負荷等に基づく保健医療研究分野の優先順位付けに関する研究」研究班

(5) 実施調査機関

株式会社プラメド

2. 調査結果（単純集計）

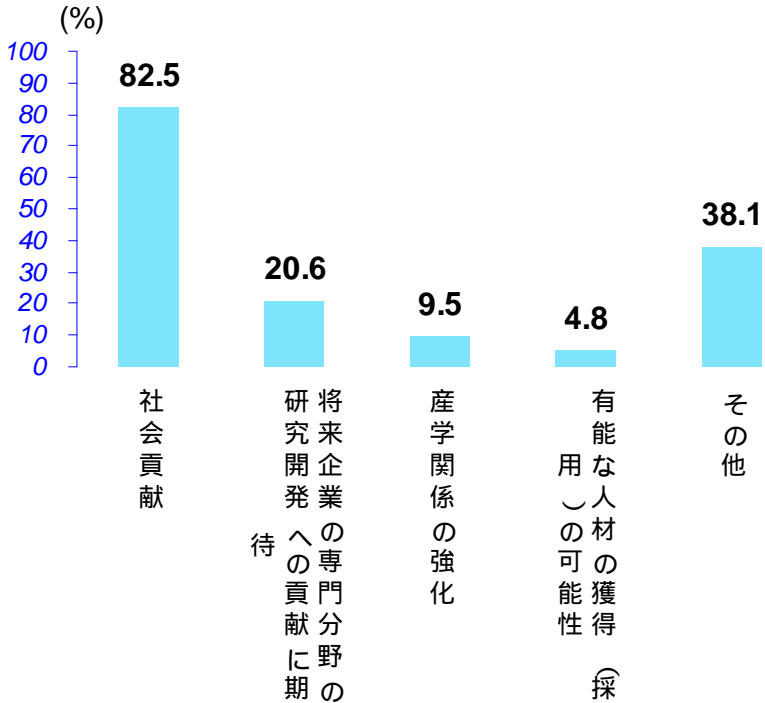
研究助成の目的・趣旨 / 助成対象となる研究分野

回答した研究助成機関の82.5%が、社会貢献を研究助成の目的・趣旨と回答した。

助成対象の研究分野では、約 8 割の機関が基礎研究と臨床研究を助成対象としていた

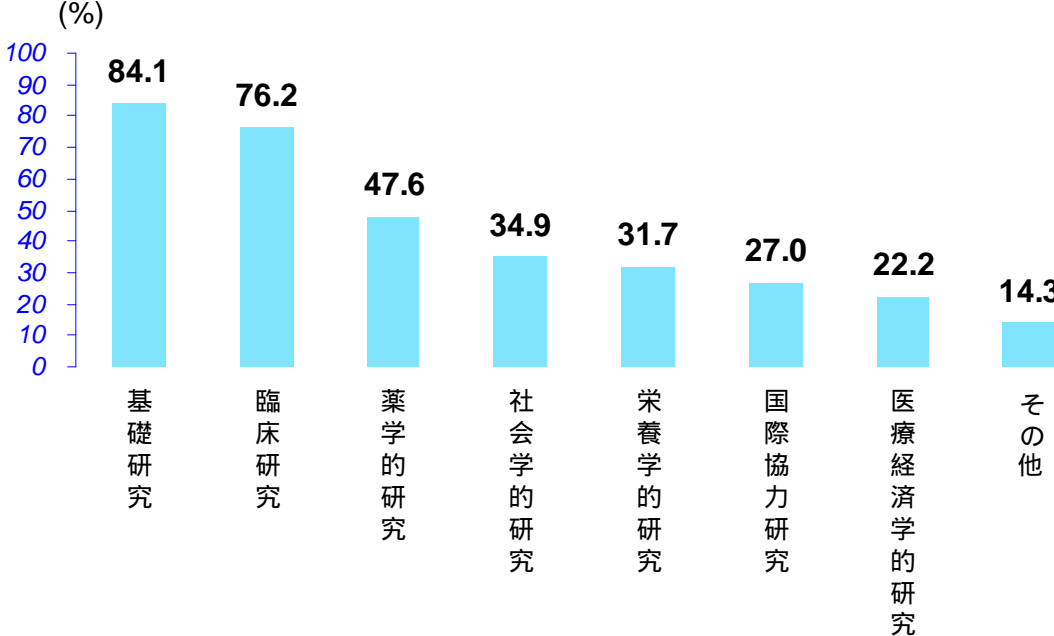
研究助成の目的・趣旨

回答者数=63
総回答数=98



助成対象となる研究分野

回答者数=63
総回答数=213



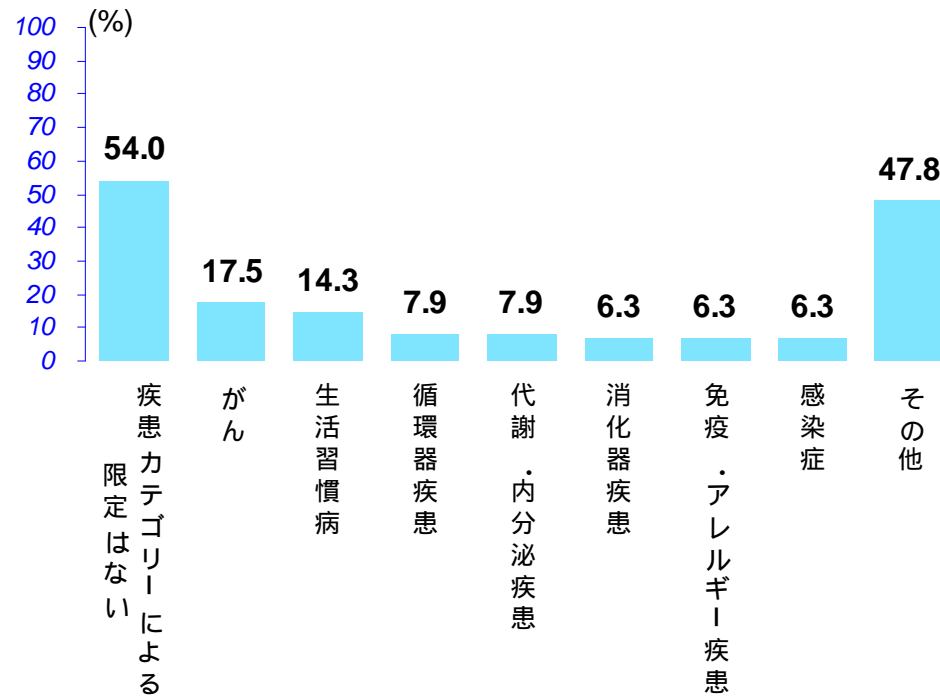
助成対象となる疾患カテゴリーおよび疾患

回答した研究助成機関の54.0%が「疾患カテゴリーによる制限はない」と回答し、69.8%が「疾患による制限はない」と回答した。

制限のある機関においては、疾患カテゴリーでは「がん」、疾患では「肝臓がん」が最多であった。

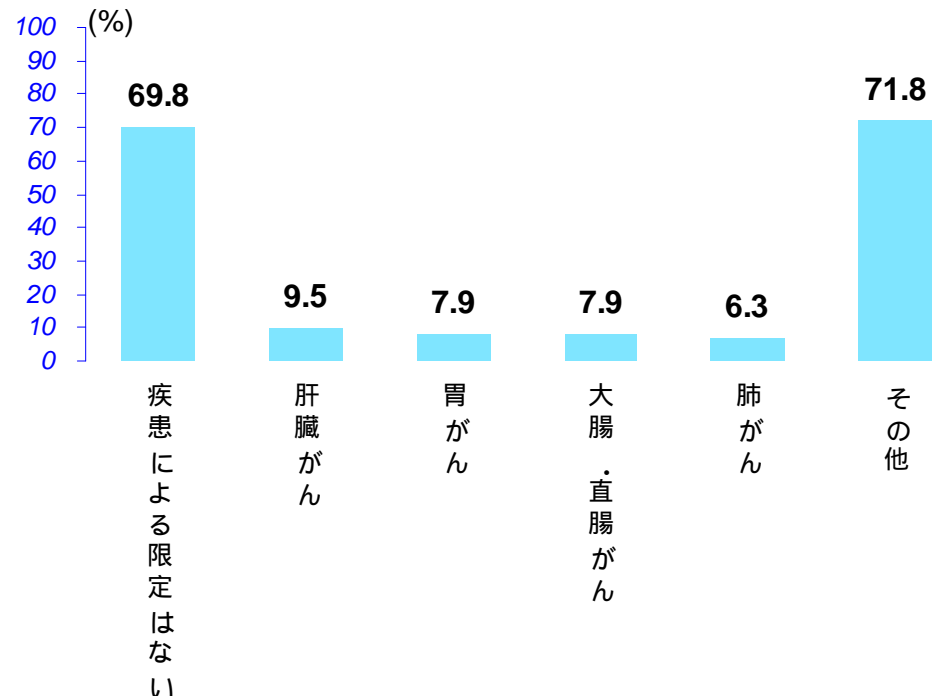
助成対象の疾患カテゴリー

回答者数=63
総回答数=106



助成対象の疾患

回答者数=63
総回答数=109

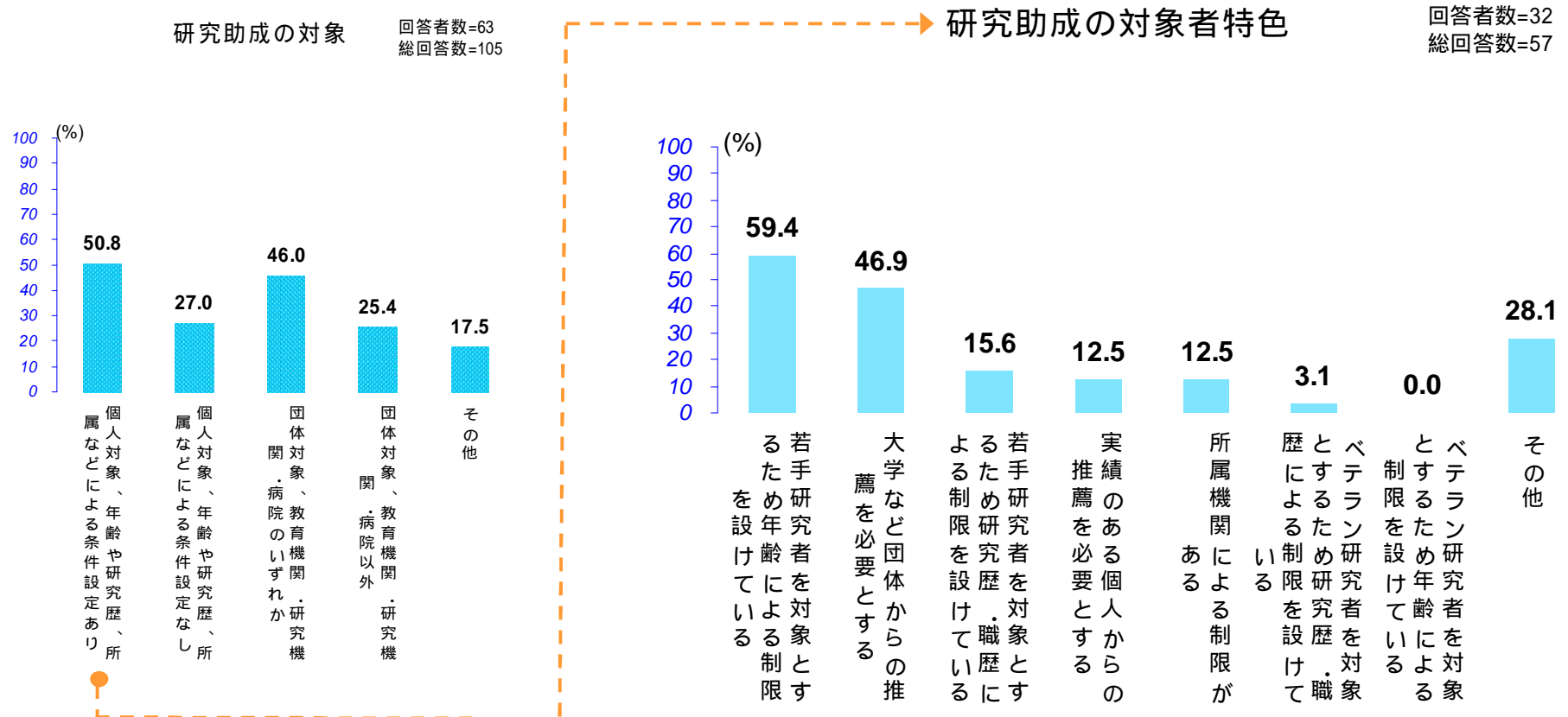


(5.0%以上を表示、それら以下は「その他」にまとめた)

研究助成の対象となる「個人」の特色

回答した研究助成機関の50.8%が、条件設定のもと個人を研究助成していた。

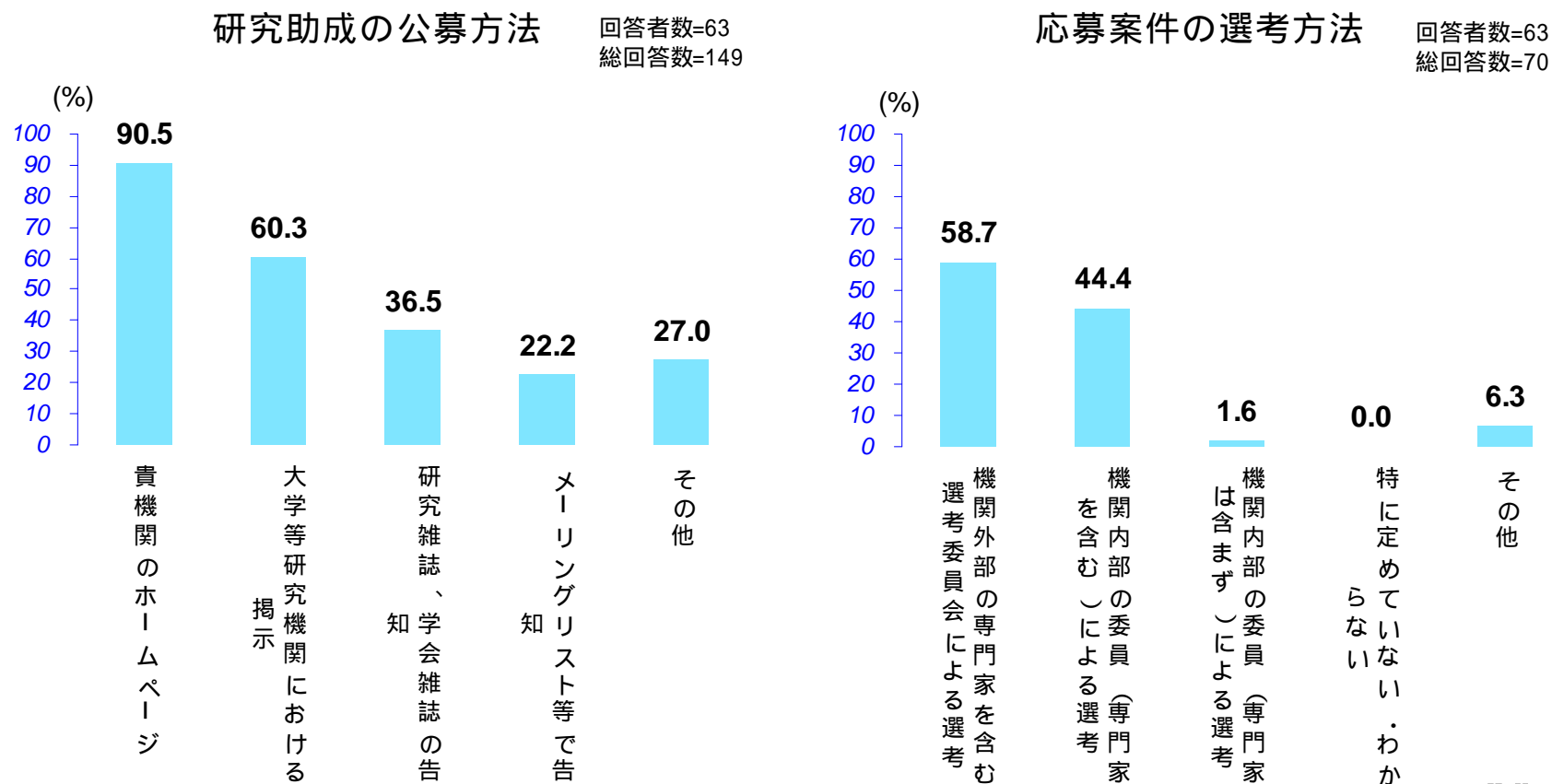
条件設定のもと個人を研究助成していた機関のうち、59.4%で年齢による若手向けの研究助成を行っていた。



研究助成の公募方法 / 応募案件の選考方法

回答した研究助成機関の90.5%の機関がホームページで公募情報を公開していた。（本調査の対象機関は、大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）登録の研究助成機関であり、回答したほとんどの機関がUMINでも募集していると考えられる）

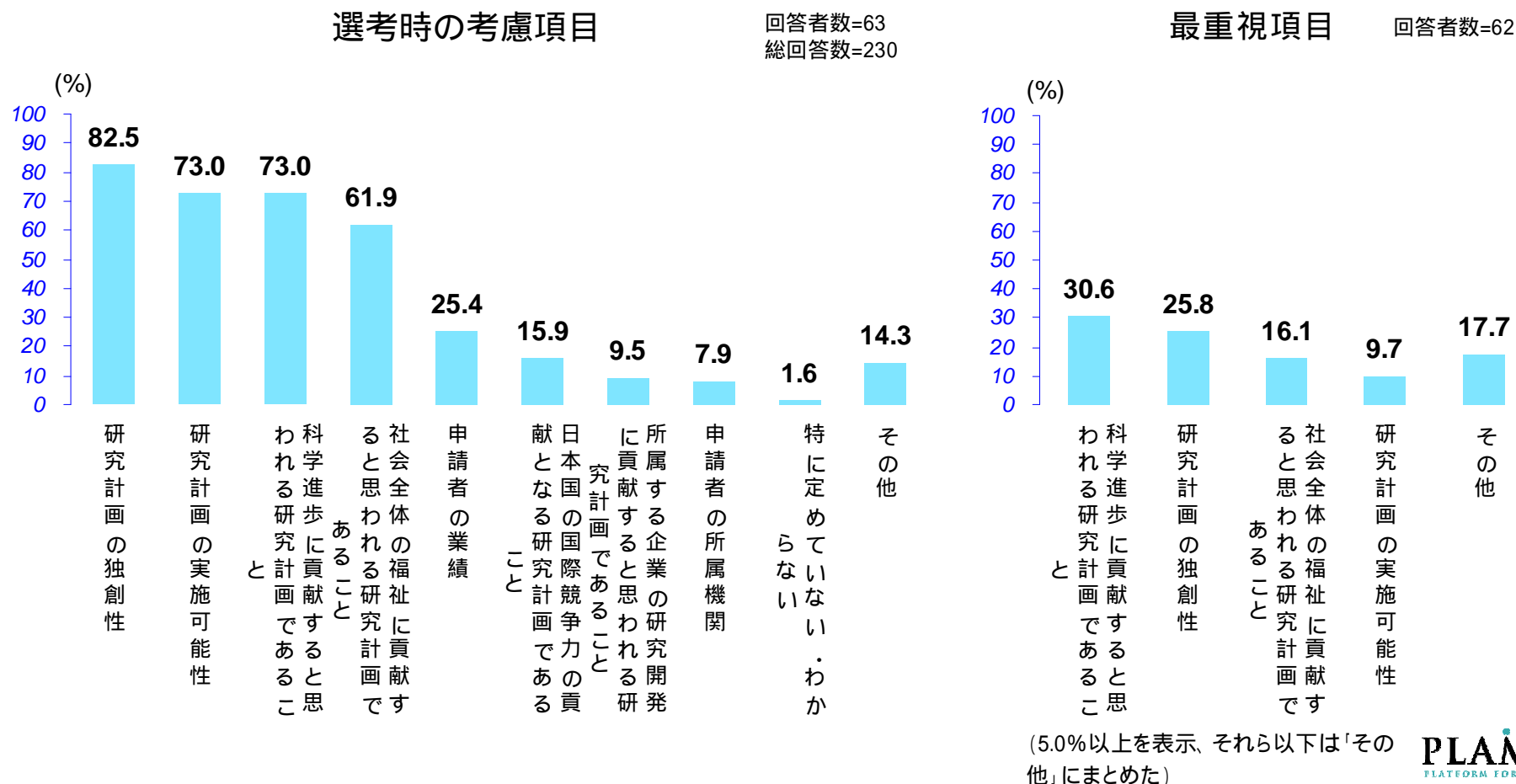
応募案件の選考方法については、機関外部の専門家を含む選考委員会が担当している機関が最多であった。



選考時の考慮項目 / 最重視項目

「研究計画の独創性」「研究計画の実施可能性」「科学進歩への貢献」「社会全体の福祉への貢献」の4項目については、回答した研究助成機関の50%以上が選考時に考慮していた。

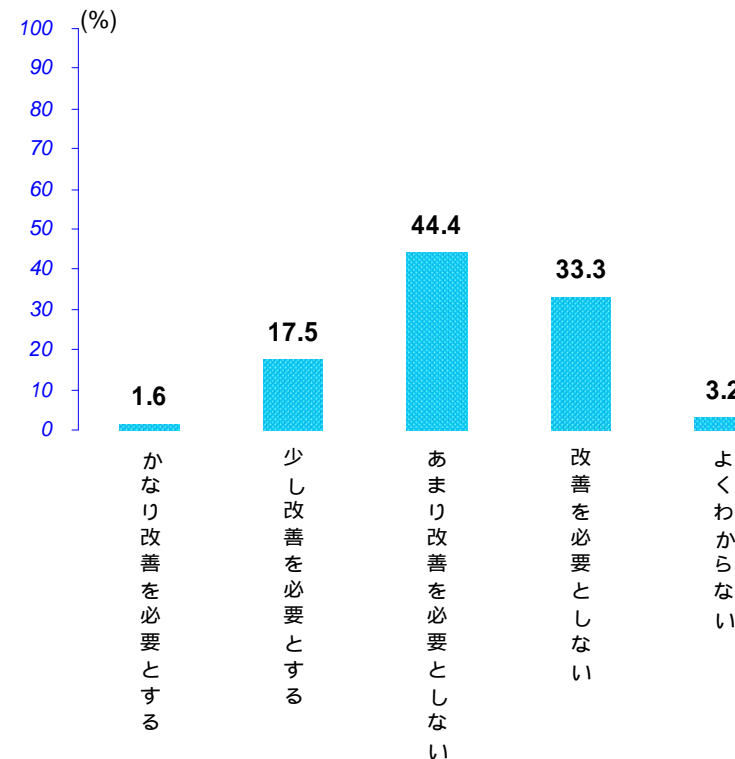
最も重視される項目については、「科学進歩への貢献」と回答した機関が最も多かったが、ほかの項目との差はわずかであった。



選考プロセス

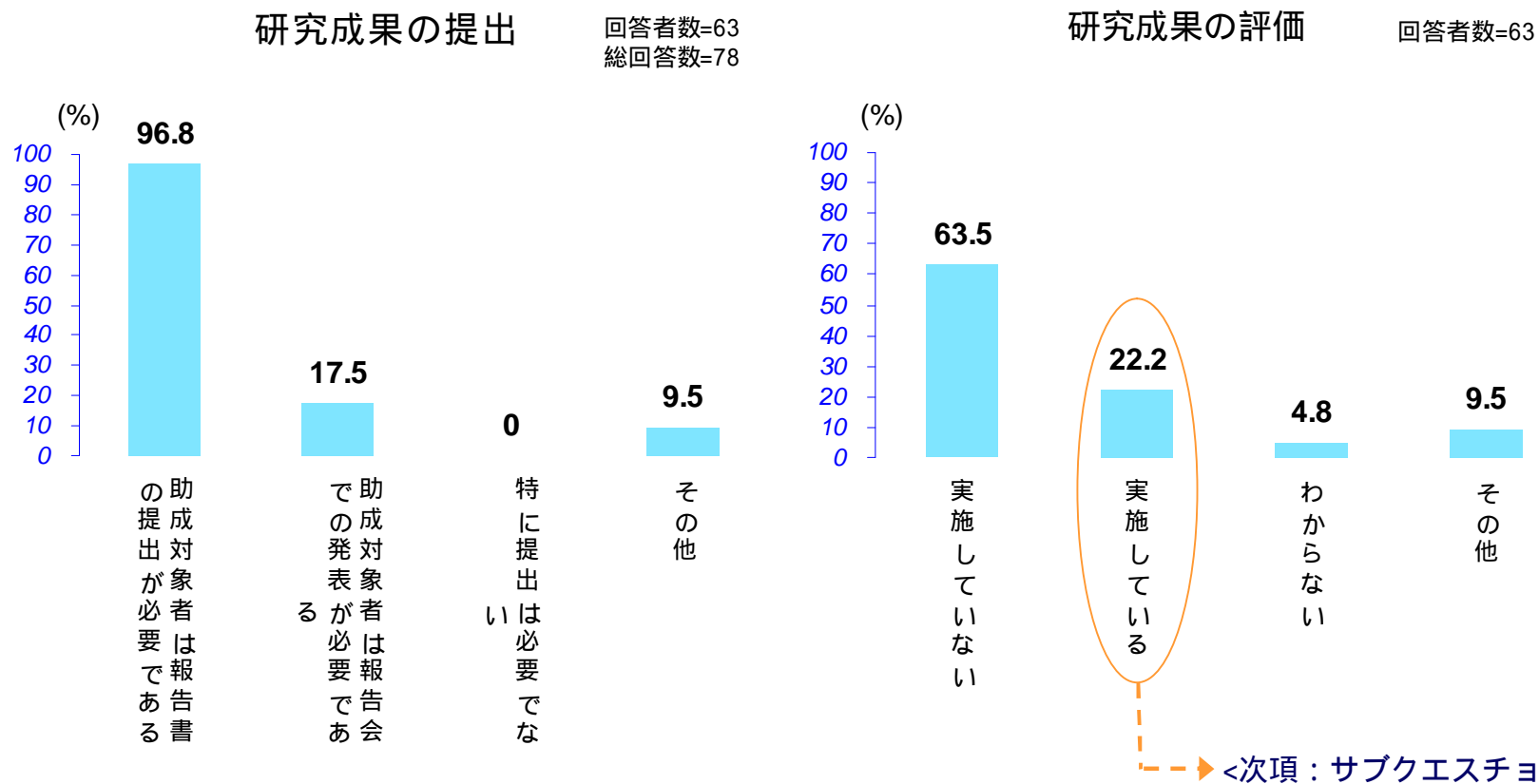
回答した研究助成機関の77.7%が、応募案件の選考プロセスを「あまり改善を必要としない」もしくは「改善を必要としない」と回答した。

選考プロセス 回答者数=63



研究成果の提出義務 / 研究成果の評価

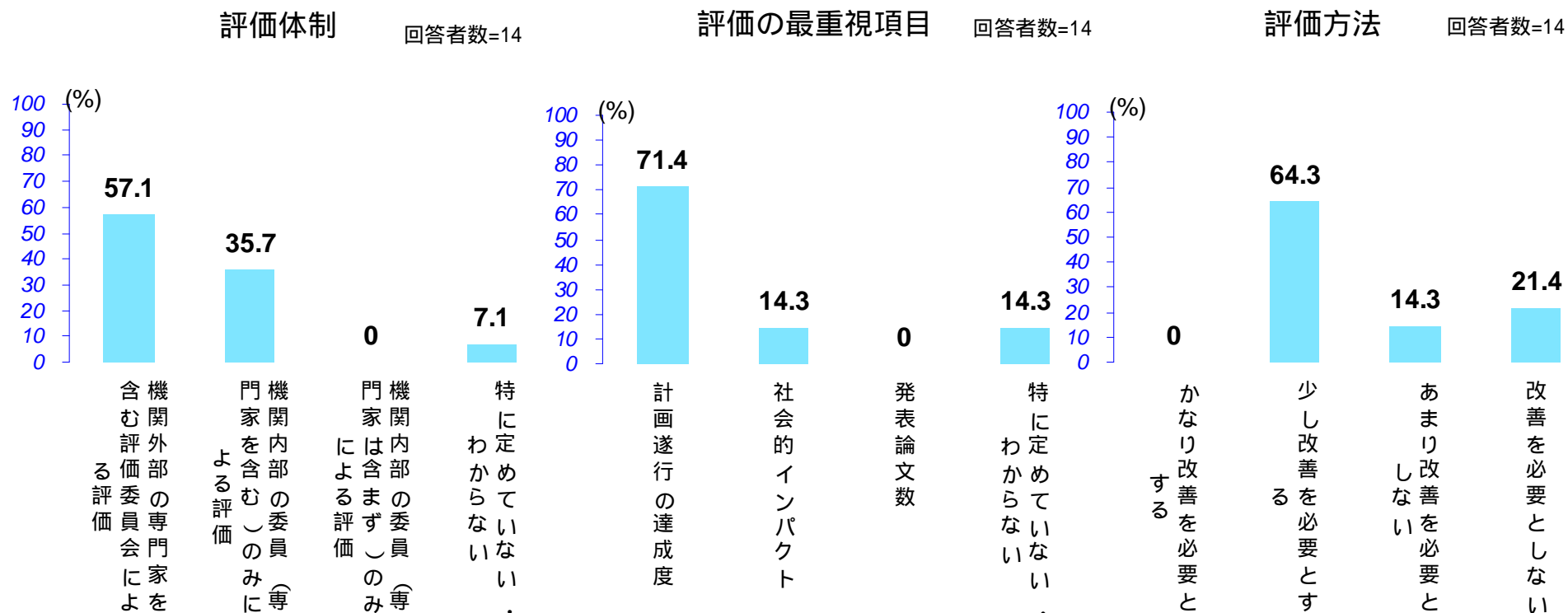
回答した研究助成機関のほぼすべて（96.8%）の機関が、採用案件の報告書の提出を必要としていた。
 回答した研究助成機関の22.2%が、研究成果の評価を実施していた。



評価体制 / 評価の最重視項目 / 評価方法

研究成果の評価を「実施している」14機関では、機関外部の専門家を含む評価委員会による評価を実施している機関が最も多かった。

計画遂行の達成度を最も重視する回答した研究助成機関が71.4% (10/14) を占めた。



-----> <研究成果の評価を「実施している」14機関による回答の集計結果>